



2019年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年1月11日

上場会社名 株式会社 ジュンテンドー 上場取引所 東
 コード番号 9835 URL <http://www.juntendo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 松浦 誠 TEL 0856-24-2400
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第3四半期の業績 (2018年3月1日～2018年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第3四半期	33,723	△0.2	473	△29.3	441	△28.1	294	△29.7
2018年2月期第3四半期	33,790	△0.8	669	△6.1	614	△3.6	418	16.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第3四半期	36.52	—
2018年2月期第3四半期	51.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第3四半期	36,601	10,944	29.9	1,356.95
2018年2月期	34,357	10,744	31.3	1,332.16

(参考) 自己資本 2019年2月期第3四半期 10,944百万円 2018年2月期 10,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年2月期	—	0.00	—		
2019年2月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年2月期の業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	△0.3	250	△39.2	200	△42.8	200	△3.3	24.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期3Q	8,331,164株	2018年2月期	8,331,164株
② 期末自己株式数	2019年2月期3Q	265,837株	2018年2月期	265,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期3Q	8,065,500株	2018年2月期3Q	8,066,011株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(重要な後発事象)	5
3. 補足情報	6
商品別売上高	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、相次ぐ自然災害の影響により、輸出、インバウンド需要を中心に一時的に鈍化したものの、その後持ち直しの動きが出ており、企業業績も引き続き堅調に推移いたしました。個人消費におきましては、人手不足を背景として、雇用・所得環境の改善が続いておりますが、自然災害やエネルギー価格の上昇等の要因により、消費マインドは力強さを欠くものとなりました。また、一部海外における貿易摩擦の激化は、引き続き我が国経済にとってのリスク要因となっております。

このような経済情勢の中、当社の当第3四半期累計期間の売上高及び営業収入につきましては、全社では前年同期に対して減収となりましたが、ホームセンター事業におきましては、猛暑による夏物商品の好調な販売、豪雨災害関連需要に加え、10月以降も天候に恵まれたこと等により前年同期を上回りました。店舗につきましては、当第3四半期累計期間で、ホームセンターの新設1店、全面改装2店を実施し、ホームセンター4店及びドラッグストア1店を閉店いたしました。

当第3四半期累計期間の営業収益（売上高及び営業収入）は、337億2千3百万円で前年同期比6千6百万円（0.2%）の減少となりました。売上高は、324億9千8百万円で前年同期比6千万円（0.2%）の減少、営業収入は12億2千5百万円で前年同期比6百万円（0.5%）の減少となりました。

損益面では、売上高の減少及び販売費及び一般管理費の増加等の要因により、営業利益は4億7千3百万円で前年同期比1億9千5百万円（29.3%）の減少、経常利益は4億4千1百万円で前年同期比1億7千2百万円（28.1%）の減少となりました。四半期純利益につきましては、2億9千4百万円で前年同期比1億2千4百万円（29.7%）の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較し22億4千3百万円増加し、366億1百万円となりました。これは、主に新店に伴う設備投資による固定資産11億6千8百万円、たな卸資産5億3千4百万円、現金及び預金3億6千8百万円の増加等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較し20億4千4百万円増加し、256億5千7百万円となりました。これは、主に仕入債務13億9千5百万円、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形5億8千7百万円の増加等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較し1億9千9百万円増加し、109億4千4百万円となりました。これは、主に四半期純利益による2億9千4百万円の増加と、剰余金の配当による8千万円の減少等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年10月12日第2四半期決算短信において公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	948,386	1,316,437
受取手形及び売掛金	135,187	179,126
商品	12,189,188	12,722,067
貯蔵品	32,767	34,339
その他	855,540	984,272
流動資産合計	14,161,070	15,236,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,046,746	25,334,524
減価償却累計額	△16,703,170	△16,906,736
建物及び構築物 (純額)	8,343,575	8,427,788
土地	6,014,068	6,018,577
その他	3,534,463	4,793,159
減価償却累計額	△2,333,602	△2,503,402
その他 (純額)	1,200,860	2,289,756
有形固定資産合計	15,558,503	16,736,122
無形固定資産	621,658	628,986
投資その他の資産	4,016,637	4,000,433
固定資産合計	20,196,800	21,365,542
資産合計	34,357,870	36,601,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,195,968	3,753,058
電子記録債務	2,842,065	3,680,768
短期借入金	1,700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,325,797	2,446,758
未払法人税等	157,572	145,945
引当金	444,306	597,399
その他	1,255,422	1,805,226
流動負債合計	11,921,131	12,429,157
固定負債		
長期借入金	8,002,519	9,468,034
退職給付引当金	2,523,586	2,464,398
資産除去債務	434,014	439,818
その他	731,787	856,121
固定負債合計	11,691,906	13,228,371
負債合計	23,613,037	25,657,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,224,255	4,224,255
資本剰余金	3,999,241	3,999,241
利益剰余金	2,578,166	2,792,065
自己株式	△115,682	△115,952
株主資本合計	10,685,980	10,899,609
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58,852	44,647
評価・換算差額等合計	58,852	44,647
純資産合計	10,744,833	10,944,256
負債純資産合計	34,357,870	36,601,786

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)
売上高	32,558,877	32,498,345
売上原価	23,002,430	22,955,193
売上総利益	9,556,446	9,543,152
営業収入	1,231,612	1,225,233
不動産賃貸収入	330,144	315,204
業務受託収入	901,467	910,029
営業総利益	10,788,058	10,768,386
販売費及び一般管理費	10,118,872	10,295,172
営業利益	669,186	473,213
営業外収益		
受取利息	16,724	14,971
受取配当金	3,189	4,474
受取手数料	4,471	4,471
雑収入	34,811	42,129
営業外収益合計	59,196	66,045
営業外費用		
支払利息	104,668	90,566
雑損失	9,426	7,261
営業外費用合計	114,094	97,828
経常利益	614,288	441,431
特別利益		
固定資産売却益	26,471	449
賃貸借契約解約益	—	5,869
受取保険金	32,339	290,982
収用補償金	1,108	—
事業分離における移転利益	39,903	—
過去勤務費用償却益	471,702	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	8,166	—
工事負担金等受入額	—	25,405
特別利益合計	579,692	322,707
特別損失		
固定資産除却損	29,761	56,959
賃貸借契約解約損	—	4,074
減損損失	9,225	4,136
店舗閉鎖損失引当金繰入額	41,800	—
災害による損失	21,565	198,206
災害損失引当金繰入額	—	42,820
退職給付制度移行損	462,816	—
特別損失合計	565,169	306,197
税引前四半期純利益	628,810	457,941
法人税、住民税及び事業税	272,212	183,733
法人税等調整額	△62,393	△20,348
法人税等合計	209,818	163,385
四半期純利益	418,992	294,555

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「西日本豪雨」の影響について)

2018年7月に発生した「西日本豪雨」により、建物・設備・棚卸資産等に滅失損失や原状回復費用が発生したため、当第3四半期累計期間における損失を「災害による損失」として198,206千円、第4四半期会計期間以降に見込まれる損失については、その金額を合理的に見積り、「災害損失引当金繰入額」として42,820千円をそれぞれ特別損失に計上し、被災した資産に係る保険金について、受取保険金290,982千円を特別利益に計上しております。

(重要な後発事象)

当社は、2018年12月17日開催の取締役会において、2000年より中国地方にて「サンデーズ」の名称で展開するドラッグストア事業を、ウエルシアホールディングス株式会社の子会社であるウエルシア薬局株式会社に譲渡することを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結しました。

1. 譲渡の理由

当社の今後の展望を踏まえ、事業ポートフォリオの最適化を検討した結果、ホームセンター事業に経営資源を集中させるため、当該事業の譲渡を決定いたしました。

2. 譲渡する相手会社の名称

ウエルシア薬局株式会社

3. 譲渡する事業の内容、規模

(1) 譲渡する事業

ドラッグストア事業を展開する「サンデーズ」江津店、浜田店、下本郷店、川本店、加計店、新見店、益田駅前店の合計7店舗をウエルシア薬局株式会社に譲渡いたします。

(2) 譲渡事業の売上高

1,607,724千円 (2018年2月期 ジュンテンドー売上高に占める割合：3.8%)

4. 譲渡事業の資産、負債

詳細につきましては、譲受人側との間で協議中であります。

5. 譲渡の時期

2019年2月28日 (予定)

3. 補足情報
商品別売上高

(単位：千円)

部門別	期別	前第3四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	(参考)前期 (2018年2月期)
		金額	金額	金額
売上高	家庭雑貨・家庭電器	9,180,740	8,986,450	12,417,200
	園芸農業・資材工具	16,196,818	16,700,083	19,850,351
	趣味・嗜好	5,091,386	4,995,639	7,280,864
	その他	7,253	6,424	9,042
	ホームセンター事業	30,476,199	30,688,598	39,557,459
	関連事業	2,082,677	1,809,747	2,780,433
	売上高合計	32,558,877	32,498,345	42,337,892
営業収入	ホームセンター事業	1,226,775	1,217,358	1,579,967
	関連事業	4,836	7,875	6,965
	営業収入合計	1,231,612	1,225,233	1,586,932
営業収益(売上高及び営業収入合計)		33,790,489	33,723,579	43,924,825

(注) 1 ホームセンター事業の各部門の内容は次のとおりであります。

家庭雑貨・家庭電器	台所用品、家庭用品、日用消耗品、家電製品、寝装・インテリア等
園芸農業・資材工具	家庭園芸用品、農業用品、工具・建築金物、塗料・作業用品等
趣味・嗜好	ペット用品、オフィス・店舗用品等
その他	消耗品等

2 関連事業の内容は次のとおりであります。

書籍・CD・DVD、ドラッグ等

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。